

令和3年3月

本年3月は、東日本大震災から10年の節目の年となります。10年前のこの日、私は米国に出張していました。成田空港に戻ると、煙が立ちこめ、東京への高速道路は不通となっていました。

在トロント総領事館としては、10年前に支援をいただいたオンタリオの皆様へ、改めて支援に対する御礼を申し上げ、現在の被災地の復興の現状をご報告することが重要と考えました。

10年前の東日本大震災に際しては、本当に多くの方々から支援を賜りました。ここに改めて、感謝申し上げたいと思います。

10年前の支援の中には、日本でプロレスラーとして大活躍された、タイガー・ジット・シンさんと息子のタイガー・アリ・シンさんが運営されている、タイガー・ジット・シン財団の支援があることを知りました。私を含め、多くの日本人が、タイガー・ジット・シンさんのことを覚えていると思いますが、ここカナダのオンタリオ州ミルトンにおられることを知る人は少ないでしょう。また、東日本大震災への支援に奔走された事実は知られていないと思いました。当時の支援活動をはじめとする日本との友好親善の促進に対する貢献を称え、私は2月25日に、タイガー・ジット・シン財団に対して在外公館長表彰を行いました。表彰式の際、タイガー・アリ・シンさんからは、タイガー・ジット・シン財団が、東日本大震災における被災児童向けに2万ドルの寄付金を新たに供与することも発表されました。幸い日本やカナダの報道でも取り上げられ、多くの皆様にこの事実を知らせることができました。このような出会いは、在外での勤務の醍醐味です。このような日本の友人を、今後も大切にしていきたいと思います。



オンタリオ州議会は、10 年前、日本への支援と連帯を示すために、当時の石川薫大使を州議会に招聘し、演説する機会を与えていただきました。



Photo credit: Embassy of Japan in Canada

日系文化会館にも、数多くの個人・団体から寄付が寄せられました。10 周年にあたり同会館は、寄付の活用のご報告をいただきました。また、奨学金を受けた学生さん方の会合が計画されていましたが、新型コロナウイルスの影響で来年に延期されたとのことでした。

震災で精神的にも大きな痛手を受けた子供達を支援するために Support Our Kids の活動がここトロントでも行われています。トロントの代表は、チャコ瀬戸山さんが務めておられます。10 年に及ぶ活動の中で、2019 年に日本で開催されたラグビー・ワールドカップにあたり、日加の子供達が協力してラグビーチームを応援する大漁旗を制作したことがあります。この旗は日本でカナダチームを応援していました。その旗がちょうど震災 10 周年にあたる本年、無事にトロントに戻ってきました。今では、ホランド・ブロービュー病院に飾られています。



総領事館としては、オンタリオ州の皆様感謝の意を表するため、11 日付けのトロント・スター紙にお礼の広告を出したところでした。領事館には、10 年は経ったが、震災被害に新たに寄付を行いたいというありがたいお申し出もいただきました。



新型コロナウイルスの感染者数は、ようやく減少傾向となりましたが、新規感染者数は高止まりの状況です。ワクチン接種も一層進むことが期待されています。ただしまだ、ガードを下げて良い時期ではありません。引き続き、必要な対策を取っていただくように、お願いいたします。



在トロント日本国総領事 佐々山 拓也